

映像化した小説

『この夏の星を見る』

2025年7月
映画化



辻村 深月／著 KADOKAWA

コロナ禍で登校や部活が制限される中、しかし出会いもあった。オンライン会議を駆使して、全国で繋がっていく天文部の中高生たち。「スターキャッチコンテスト」開催の次に彼らが狙うのは…。

『謎解きはディナーのあとで』

2025年4月
アニメ化



東川 篤哉／著 小学館

「失礼ながら、お嬢様の目は節穴でございますか？」令嬢刑事と毒舌執事が難事件に挑戦！「殺人現場では靴をお脱ぎください」「殺しのワインはいかがでしょう」など、ユーモアたっぷりの本格ミステリ6話を収録。

《シリーズ5巻》

『教室の怖い噂』

辻村 深月・近藤 史恵・澤村 伊智／著 汐文社



《シリーズ4巻》

若草南小学校で花子さんが現れるのは、トイレではなく校舎の階段。昔、音楽室の窓から飛び降りた生徒の幽霊が、階段に棲んでいるらしく…。学校を舞台にしたホラー小説の名作3編を収録する。

『芥川龍之介は怪異を好む』

遠藤 遼／著 笠倉出版社



まだ何者でもない大学生、芥川龍之介。初恋に破れ、心の傷を癒すため「遠野物語」に夢中になり、夜な夜な怪異との出会いを求めていた。ある雨の明け方に子河童を拾ってしまい、その日から怪異が龍之介のもとに集まりだし…。

2025年5月 映画化

『か「く」「し」「ご」と「』』

住野 よる／著 新潮社



みんなには隠している、ちょっとだけ特別なちから。そのせいで最近、君のことが気になって仕方ないんだ…。クラスメイト5人の「かくしごと」が照らし出す、お互いへのもどかしい想いを描く。

2025年4月
映画化

『おいしくて泣くとき』

森沢 明夫／著 角川春樹事務所



貧困家庭の子どもたちに無料で「こども飯」を提供する「大衆食堂かざま」。その店のオーナーの息子、中学生の心也は、こども飯を食べにくる幼馴染の夕花が気になっていて…。



とっておきの1冊を見つけよう

2025年 夏休み号

Part
60

7~9年生用 王寺町立図書館

『ハロハロ』

こまつ あやこ／著 講談社



オンライン英会話を始めた高校1年生・ののちは、講師の先生の影響で、フィリピンのことをもっと知りたくなった。クラスメイトでフィリピン人の母親がいる風羽と仲良くなって…。



『24のひらめき！と僕らの季節』

田丸 雅智／著 河出書房新社



日本の四季を楽しむ新感覚短編集。「春告人」「鯉のぼりの日」「お盆の夜」など、二十四節気をテーマにした全24編を収録する。

『杉森くんを殺すには』

長谷川 まりる／作 くもん出版



「杉森くんを殺すことにしたの」高校1年生のヒロは、一大決心をして兄のミトさんに電話をかけた。大学生のミトさんはある助言をし…。大きな喪失から回復していく心の動きを描く。

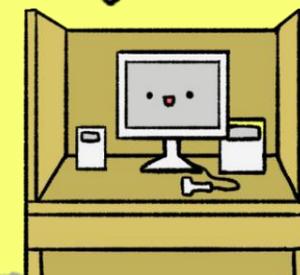
図書館の検索機で

セルフ貸出ができます！

検索機の画面の“セルフ貸出”を選択し、図書館の利用カードと本のバーコードをスキャンするだけ！！

※セルフ貸出には図書館のカードが必要です。
カードを忘れた人や持っていない人は図書館の人に聞いてね。

検索機は、カウンターの前と横の2か所にあるよ。



空の世界は不思議がいっぱい 宇宙のひみつ



『ニュースとマンガで今、一番知りたい!宇宙と天文』

鈴木 喜生/著 朝日新聞出版

地球みたいな海がある惑星はほかにある? 最新宇宙ニュースを紹介するとともに、宇宙と天文に関する 76 の疑問に答える。マンガやクイズも掲載。動画を視聴できる QR コード付き。



『眠れない夜に読みたくなる宇宙の話 80』

宇宙すずちゃんねる/著 KADOKAWA

月がなかったらどうなるの? どうやって地球は生まれたの? 宇宙は何でできているの? 地球誕生から月や銀河、宇宙の果てまでの 80 テーマで、宇宙の魅力を紹介する。

宇宙のまめ知識

私たちが見たり観測できたりして知っていることは、宇宙全体の約 4.9%くらいなんだニャ! つまり、私たちは宇宙に関して「ほとんどなにも知らない」といってもいいくらいなんだって! 宇宙は謎が多いからこそ魅力的に感じるのかもしれないニャ~。



『大人でも答えられない!宇宙のしつもん』

荒船 良孝/著 すばる舎

宇宙の成り立ち、ブラックホール、太陽系の惑星、銀河、発展し続ける宇宙開発。さらには地球外生命のお話まで。誰にも聞けない、でも知りたい質問にやさしく丁寧に答えてくれる、授業形式の宇宙解説本。

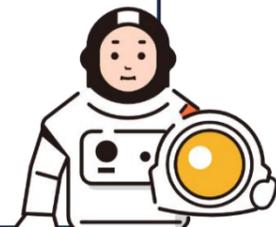
実は大変なんです



『宇宙飛行士はどうやってウチをするの?』

キッズトリビア倶楽部/編 えほんの杜

納豆は宇宙に持っていける? たこ焼きって名前の小惑星がある? 不思議で面白い宇宙の雑学 50 を収録。日本の宇宙研究の最前線 JAXA がどんなところかも紹介します。



『ぼくが宇宙人をさがす理由』

鳴沢 真也/著 旬報社

宇宙少年だったぼく。ひきこもりや数かずのつまずきがあったぼくが、世界 15 カ国の科学者たちのリーダーになって、“宇宙人さがし”の大作戦にとりくむ。SETI(地球外知的生命探査)をおこなう著者のメッセージ。



『宇宙人に会いたい!』

平林 久/著 学研教育出版

宇宙人は本当にいるの? いるとしたらどこにいるの? 宇宙人を探す方法は? どうやって宇宙人と交信するの? 宇宙人探しを手がかりに、宇宙と生命についてわかりやすく解説する科学読み物。



夜空を見よう

『マンガで楽しく読める星座と神話』

甲谷 保和/監修 ナツメ社

くまになった親子、オリオンに恋した月の女神…。夜空に輝く代表的な星座を春夏秋冬の季節ごとに掲載し、その星座にまつわるギリシャ神話をフルカラーのマンガで紹介。星座の特徴や見つけ方、宇宙の知識なども説明する。



『季節をめぐる星座のものがたり』

永田 美絵/監修 汐文社

星座は古代の人々が未来の私たちに残した贈り物。遠い昔から受け継がれた夜空には、壮大なロマンが秘められている。おおぐま座、おとめ座など、春の星座のものがたりをイラストとともに紹介。全天図(春の星座)付き。 **シリーズ 4 巻**



『14 歳からの天文学』

福江 純/著 日本評論社

アポロは月へ行っていないってホント? 宇宙人はどこに? 著者の中学時代のエピソードや好きな SF、アニメに脱線しながら天文・宇宙の世界へ。“14 歳”を意識した、天文学の入門書

